

追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業

都市計画課 作成

整備テーマ

歴史文化の誘い道 ~今と昔が交差する、レトロモダンな名脇役~

経過

- ・商店が連なり来街者が訪れる賑わいのある「道」
- ・地元商店街・自治会・まちづくり団体からの要望
- ・都市再生特別措置法により道路の空間活用が可能に

改善点

- 改善1 歴史を活かす**
- ・石垣・お堀の水辺・桜等の歴史資源と調和した歴史を阻害させない景観デザイン
 - ・石垣、櫓などの歴史資源を見ながら歴史を感じさせる空間を形成
- 改善2 賑わいを創る**
- ・来街者の安全・快適なひと中心の道路空間を形成(歩道拡幅)
 - ・来街者の憩いや交流に供するオープンカフェを設置(官民連携)
- 改善3 来街者を惹き付ける**
- ・水上デッキや石畳み風の舗装などにより期待感を醸成させる空間を演出
 - ・歴史文化施設までの統一された意匠により歴史文化の拠点へ誘う

効果

- ・賑わい創出
 - ・安全性の向上
 - ⇒ **5大構想「歴史文化の拠点づくり」「まちは劇場」の推進**
- ・歴史資源のみがきあげ
 - ・民間活力導入

景観形成の方針

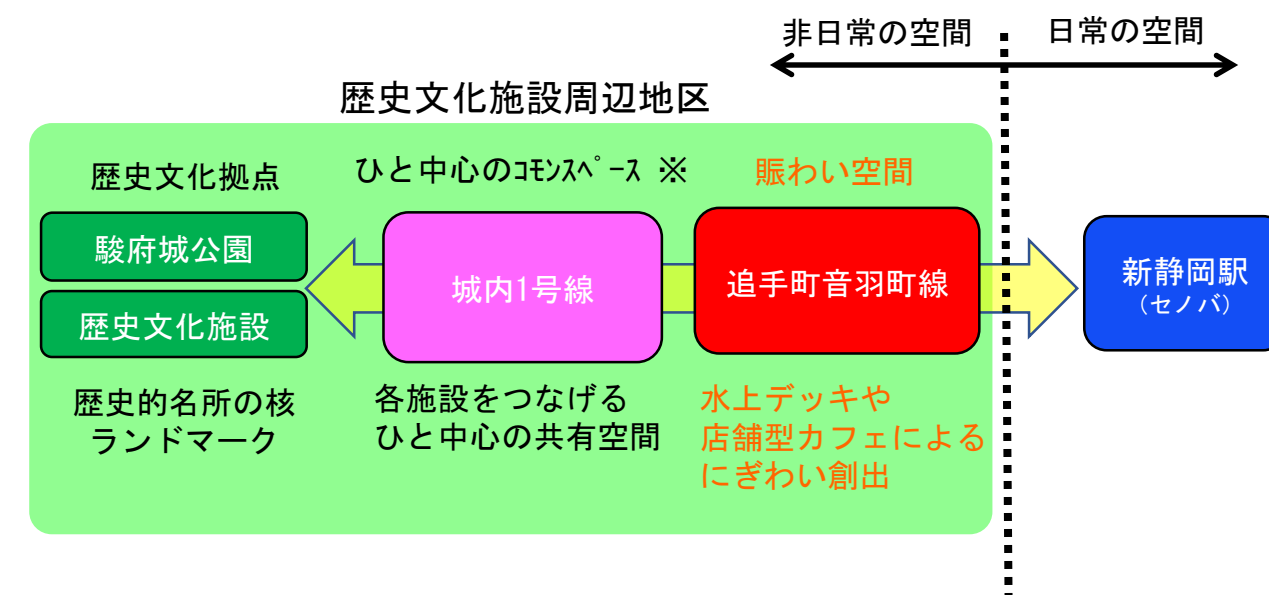
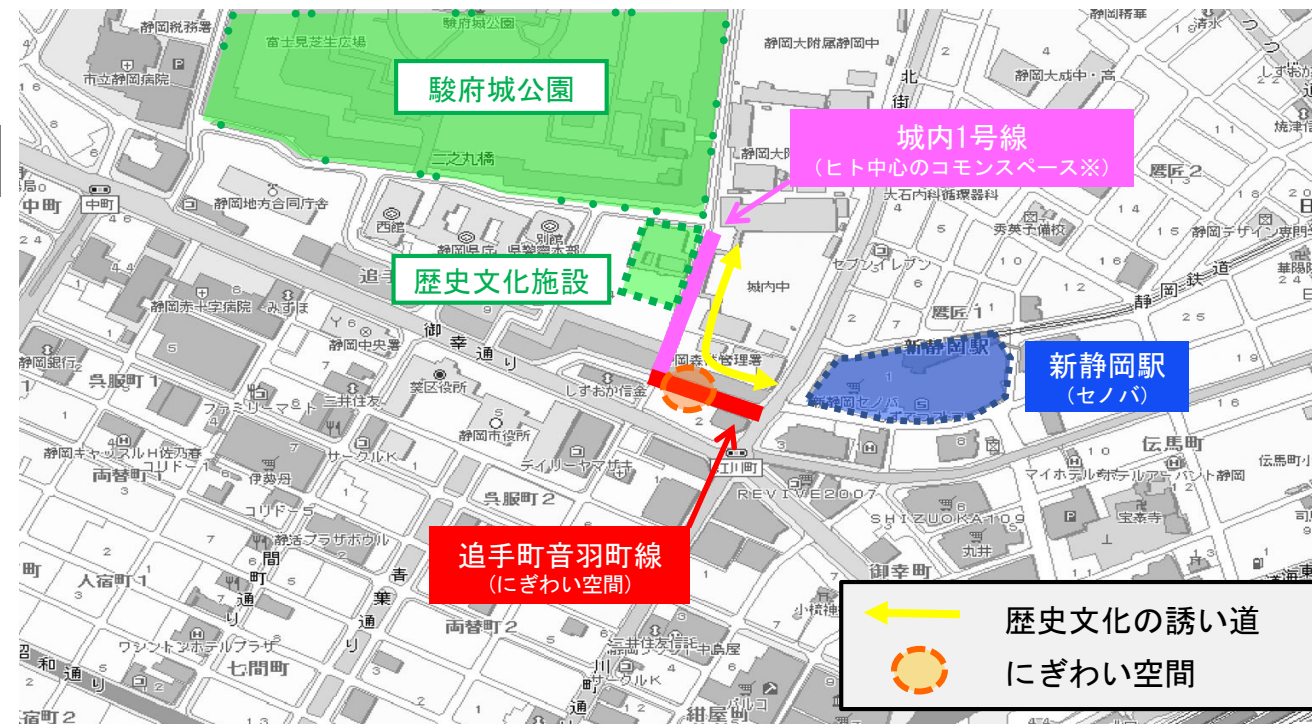


景観形成の方針

お堀や石垣、水辺、緑が醸し出す歴史文化や風格を優先し、整備する施設類は空間の中で主張せず、かつ駿府城跡という場所にふさわしいデザイン、色彩とする

「セノバをはじめとした商業・業務エリアから歴史文化拠点を繋ぐ魅力的な道筋」となるよう、歴史的な景観に配慮しながら安全で快適なひと中心の道路空間を形成し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。

位置付け



※コムンスペースとは「各施設をつなげる共有の空間」を表す